

科目	微生物と感染症				
時間数	1単位 22時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	⑤近藤みずほ				
実務経験	⑤臨床検査技師(医療機関)				
ねらい	微生物についての基礎知識を学び、感染の成り立ちから発症について理解し、感染症の患者の看護に活かすことができる。				
目標	1. 微生物感染の機構(感染の成立から発症・治癒)を学ぶ。 2. 細菌・真菌・およびウイルスの病原因子や感染様式の特徴を学ぶ。 3. 病原体の侵入・増殖に対する生体の感染防御機構について学ぶ。				
授業計画					
回	内容				
1	微生物学の基礎 (1)微生物と微生物学 (2)微生物の性質、細菌・ウイルス・真菌				
2	感染と感染症 (1)細菌感染の機構 (2)真菌感染の機構 (3)ウイルス感染の機構				
3	感染症の検査と診断				
4	主な病原微生物と感染症 (1)呼吸器系感染症、上気道感染症、肺炎				
5	(2)結核				
6	(3)腸管感染症				
7	(4)肝・胆道系感染症				
8	(5)性感染症				
9	(6)皮膚・粘膜の感染症				
10	(7)血流感染症、尿路感染症等				
11	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	疾病の成り立ちと回復の促進④微生物学:医学書院				